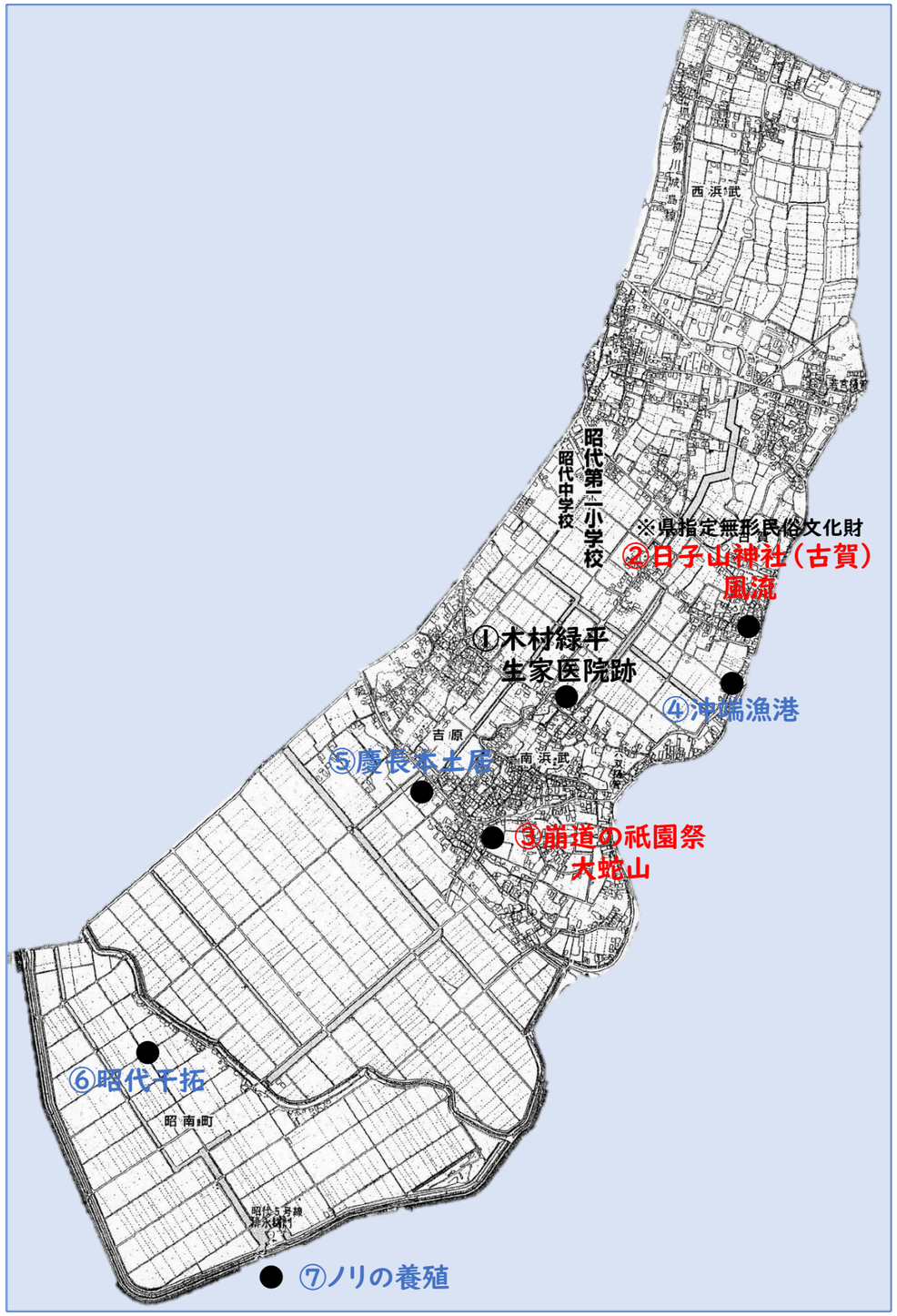
昭代ふるさとマップ

昭代第二小学校 編



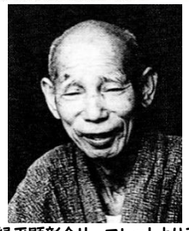
～ 人 物（ひと） ～

①木村　緑平（俳人）

1888 年（明治 22 年）に南浜武で生まれました。医者をしながら自由律の俳句をたくさんつくりました。また、俳人・種田山頭火の親友で、彼の作品を紹介し、世間から注目されるきっかけをつくりました。

毎年 10 月には、功績を讃え、柳城児童公園で句碑祭が開かれます。市内の児童が応募する「緑平ジュニア賞」の授与式が行われます。

写真）南浜武に建てた病院／木村家提供



木村緑平顕彰会リーフレットより引用

～ 祭 り（もの） ～

②日子山神社の風流

古賀の風流は五穀豊穣と柳川藩主への感謝を表す行事といわれています。

10 月 10 日の氏神様の秋の大祭で太鼓や鼓、鐘、笛に合わせて舞が奉納されます。

県指定無形民俗文化財にも指定され、400 年にわたる歴史ある祭りを継承しています。

全国観光情報データベースより引用

③崩道の祇園祭

「本土居」の南に観音堂があり、7 月 17 日の祭礼には、堂のそばの空池の上に雌雄の大蛇をつくり、無病息災と五穀豊穣を祈願します。

大蛇の胴体は麦わら、頭部には潟土をぬり、うろこは貝殻を貼り付ける郷土色豊かなものです。

子ども達は、地域の方から祭りに込められた思いを学ぶとともに、実際に制作する活動に取り組んでいます。

～ 史跡・特産物 （こと）～

④沖端漁港

筑紫橋から沖端河口までが沖端漁港です。両岸には船を留める「ともえ柱」が何本も重なって見えます。ノリ漁が主ですが、宝の海と呼ばれる有明海で魚貝類をとる漁も行われています。

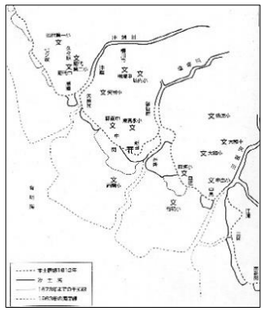
環境副読本「やながわ」より引用

⑤慶長本土居

「本土居」とは、慶長年間に柳川城主、田中吉政が干拓のために造った潮受け堤防です。

大川市新田から柳川市七ツ家、八ツ家、吉原、崩道、古賀、さらには大牟田市まで築かれ、長さは 40ｋｍもあります。

現在では、生活用道路として利用されていて、堤防跡の様子が分かるところが少なくなりました。



環境副読本「やながわ」より引用

⑥昭代干拓

昭代干拓は 1963 年（昭和 38 年）に完成した新しい干拓地です。1788 年以来、175 年ぶりに昭代に生まれた土地です。

外国の進んだ技術もとりいれられ、波や風に強い鉄やコンクリートの堤防が４ｋｍにわたり、がんじょうに造られています。

⑦ノリの養殖

味がよく、口の中でとけるようにやわらかい有明海のノリは全国でも最高級といわれています。

秋になると有明海一面に支柱が立ち、色とりどりの網が張りこまれ、ノリの養殖が始まります。

秋芽ノリ（11 月初旬～下旬）と冷凍網（12 月下旬～３月下旬）の２回摘み取られます。

環境副読本「やながわ」より引用

地域の伝統文化や自然、活躍している人について見学やインタビュー体験等の活動をしてみよう。